



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 串田 守可

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 大野 博史

TEL 06-6538-7719

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	86,944	8.3	3,987	32.1	3,794	26.5	2,536	25.8
2020年3月期第3四半期	80,296	0.5	3,017	45.1	3,000	41.0	2,015	103.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,458百万円 (84.3%) 2020年3月期第3四半期 2,419百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	208.09	
2020年3月期第3四半期	161.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	141,036	62,600	43.6
2020年3月期	134,216	58,876	43.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 61,455百万円 2020年3月期 57,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		30.00	60.00
2021年3月期		30.00			
2021年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	0.1	4,000	7.8	4,000	8.9	2,800	0.9	229.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	13,098,490 株	2020年3月期	13,098,490 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	904,905 株	2020年3月期	913,102 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	12,188,171 株	2020年3月期3Q	12,510,966 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2021年3月期3Q 24,772株、2020年3月期3Q 33,189株、2020年3月期33,189株)が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響によりわが国でも緊急事態宣言が発令されたことに始まり、緊急事態宣言の解除後は、徐々に経済活動が再開されたものの、冬季に入り再び感染が拡大し経済活動が制限されるなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループとしましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、営業・事務部門では在宅勤務等を推奨し、工場の生産部門では、安全と健康を最優先にする対策を取った上で稼働を継続いたしました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、建築工事の減少などにより「産業建設資材事業」で出荷が減少したことに加え、一部では新型コロナウイルス感染拡大の影響により投資計画が延期されるなどの影響が出始めていますが、一定の受注残を確保していた「機械システム事業」、「パイプシステム事業」などで出荷が増加したことにより、売上高は前第3四半期連結累計期間比6,648百万円増収の86,944百万円となりました。

損益面では、売上高増加に伴う増益に加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、移動を伴う営業活動を最小限に留めたことなどによる各種費用の減少も寄与し、営業損益は、前第3四半期連結累計期間比969百万円増益の3,987百万円の利益、経常損益は、前第3四半期連結累計期間比794百万円増益の3,794百万円の利益、親会社株主に帰属する四半期純損益は、法人税等を差し引き、前第3四半期連結累計期間比520百万円増益の2,536百万円の利益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門で出荷量が増加したことに加え、バルブ部門でも民需向けで出荷が堅調に推移したことなどで、前第3四半期連結累計期間比2,432百万円増収の43,293百万円となりました。

営業損益につきましては、鉄管部門、バルブ部門の増収に加え、各種原価改善に注力したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比740百万円増益の2,585百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門で大型物件の出荷増に加え、大型工事進行基準物件の進捗が進んだことなどにより、前第3四半期連結累計期間比5,874百万円増収の22,338百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門の一部プラント案件において追加工事が発生しましたが、増収による増益幅が上回ったことなどにより、前第3四半期連結累計期間比171百万円増益の488百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、化成品部門で電力向け、鉄道向け製品の出荷が堅調に推移しましたが、建材部門で建築工事の減少もあり空調製品を中心に出荷が減少したことなどで、前第3四半期連結累計期間比1,658百万円減収の21,312百万円となりました。

営業損益につきましては、化成品部門での増収に加え、各種原価改善に努めましたが、建材部門の減収の影響が大きく、前第3四半期連結累計期間比139百万円減益の810百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加、売上のピークを迎え受取手形及び売掛金、電子記録債権が増加したことに加え、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末比6,819百万円増加の141,036百万円となりました。

一方、負債におきましては、生産のピークを迎え、債務の支払いが増加したことなどにより支払手形及び買掛金、電子記録債務が増加したことに加え、借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比3,096百万円増加の78,436百万円となりました。

純資産におきましては、配当金の支払い、四半期純利益の計上による利益剰余金の増減、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比3,723百万円増加の62,600百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、概ね順調に推移していることから売上高、利益とも予想数値を若干上回る見込ですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による発注延期や工事進捗遅延などの可能性を考慮し、予想数値は据え置きとさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,388	22,159
受取手形及び売掛金	34,837	37,531
電子記録債権	6,391	8,107
商品及び製品	10,445	10,085
仕掛品	8,868	8,424
原材料及び貯蔵品	2,605	2,539
その他	1,285	1,396
貸倒引当金	△152	△136
流動資産合計	84,669	90,108
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,787	13,826
その他(純額)	19,080	19,168
有形固定資産合計	32,867	32,995
無形固定資産		
その他	1,400	1,852
無形固定資産合計	1,400	1,852
投資その他の資産		
投資有価証券	8,423	10,367
その他	7,020	5,876
貸倒引当金	△164	△163
投資その他の資産合計	15,279	16,080
固定資産合計	49,546	50,927
資産合計	134,216	141,036

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,102	20,003
電子記録債務	10,767	12,196
短期借入金	20,670	25,420
1年内返済予定の長期借入金	2,375	408
未払法人税等	1,258	210
引当金	2,595	1,796
その他	7,555	6,364
流動負債合計	63,325	66,400
固定負債		
長期借入金	705	724
引当金	20	22
退職給付に係る負債	10,494	10,523
その他	792	765
固定負債合計	12,013	12,036
負債合計	75,339	78,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,873
利益剰余金	22,587	24,390
自己株式	△1,831	△1,817
株主資本合計	58,816	60,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	771	2,300
為替換算調整勘定	△4	△33
退職給付に係る調整累計額	△1,690	△1,444
その他の包括利益累計額合計	△923	822
非支配株主持分	984	1,145
純資産合計	58,876	62,600
負債純資産合計	134,216	141,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	80,296	86,944
売上原価	60,972	67,173
売上総利益	19,323	19,771
販売費及び一般管理費	16,306	15,784
営業利益	3,017	3,987
営業外収益		
受取配当金	157	152
その他	167	193
営業外収益合計	324	345
営業外費用		
支払利息	104	109
アレンジメントフィー	—	153
その他	237	275
営業外費用合計	341	538
経常利益	3,000	3,794
特別利益		
固定資産売却益	—	4
投資有価証券売却益	140	1
特別利益合計	140	6
特別損失		
投資有価証券売却損	—	4
ゴルフ会員権評価損	1	2
その他	121	1
特別損失合計	122	7
税金等調整前四半期純利益	3,017	3,793
法人税、住民税及び事業税	465	553
法人税等調整額	537	526
法人税等合計	1,003	1,080
四半期純利益	2,014	2,712
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	176
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,015	2,536

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,014	2,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214	1,529
為替換算調整勘定	△21	△29
退職給付に係る調整額	211	245
その他の包括利益合計	404	1,746
四半期包括利益	2,419	4,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,419	4,282
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	176

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	40,860	16,464	22,971	80,296	—	80,296
セグメント間の内部売上高 又は振替高	189	134	78	402	△402	—
計	41,049	16,598	23,050	80,698	△402	80,296
セグメント利益	1,844	316	950	3,112	△94	3,017

(注) 1 セグメント利益の調整額△94百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△174百万円及びたな卸資産の調整額64百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	43,293	22,338	21,312	86,944	—	86,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	64	19	153	△153	—
計	43,363	22,402	21,332	87,098	△153	86,944
セグメント利益	2,585	488	810	3,884	102	3,987

(注) 1 セグメント利益の調整額102百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額184百万円及びたな卸資産の調整額△91百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。